

【社会】



＜学習内容＞ 「日本の歴史」教科書「歴史編」

- ◆ 「天皇中心のくにづくり」（教科書 32～35 ページ）をもとに、飛鳥時代や奈良時代の様子について、取組シートやノートにまとめよう。

ことば（教科書 P32）

- (1) **聖武天皇**は、大陸の文化を学ばせ、新しい国づくりに役立てるために、唐（中国）に使者を送りました。このように、**聖武天皇**が行ったことについて、教科書 32～35 ページを参考に、下の（ ）に言葉を入れてまとめてみよう。

- ・大陸の文化を学ばせるために、唐（中国）へ使者（ ）を送りました。
- ・その結果、大陸の文化や（ ）が日本へもたらされました。
- ・その一部は、東大寺にある（ ）の宝物からうかがうことができます。
- ・聖武天皇は、日本に正式の仏教を広めるために、中国から（ ）というすぐれた僧を招きました。

- (2) 教科書 33 ページに「中国や朝鮮半島の国々からも、すぐれた学者や技術者が海をわたってやってきました。」とありますが、その結果、当時の日本では、どのような文化がさかんになりましたか。

- (3) 教科書 33 ページ「鑑真の来日」をもとに、**鑑真**について答えよう。

- ① **鑑真**は、最初は自分が日本に行く予定ではありませんでしたが、結局行くことになりました。それはなぜですか。
- ② **鑑真**は何度も渡航に失敗し、6 回目ですいに日本にやって来ました。その苦労がもとになり、両目の視力を失いました。なぜ、そこまでして日本に来ようとしたのか、自分の考えを書いてみよう。
- ③ **鑑真**は、日本にどんなことを伝えましたか。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・聖武天皇の政治は、教科書で 6 ページ分も扱われています。それは、天皇中心の政治の仕組みの確立、仏教を政治に生かしたこと、大陸の文化を取り入れたことにより、聖武天皇の政治を広く全国に影響を及ぼしたことが理由です。このあと、貴族や武士が政治を行うようになりますが、共通点や相違点を比較しながら学ぶと歴史への興味が広がります。